

当社は、HS財団動物実験認証施設です

第 25 号  
 2018年(平成30年)10月1日(営業企画部発行)  
**株式会社日本バイオリサーチセンター**  
 Nihon Bioresearch Inc.  
 〒501-6251 岐阜県羽島市福寿町間島6丁目104番地  
 TEL 058(392)2431 FAX 058(392)2432  
 URL: <https://www.nbr.co.jp/>



## 感染試験のご紹介

NBRとして感染試験を開始して7年が経過しました。この間に実施した試験数は約150試験となり、取り扱える病原体を徐々に増やし、新しい試験方法にもチャレンジしてきました。感染試験が必要になりましたら、先ずはお問い合わせ下さい。これまでの経験を基に相談から開始させていただきます。

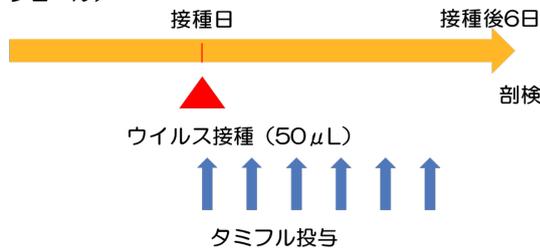


### ◆ インフルエンザウイルスを用いた呼吸器感染試験

<使用ウイルス株>

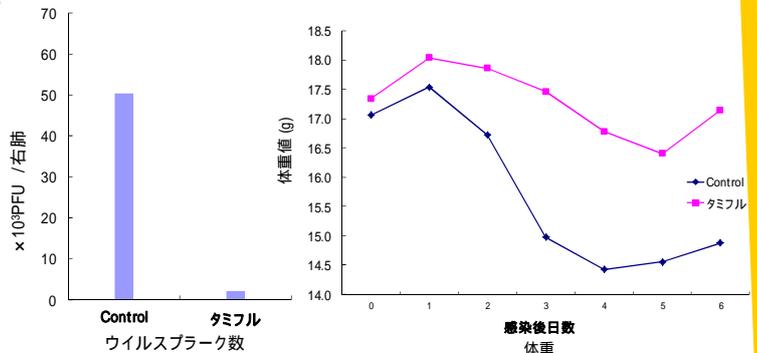
インフルエンザウイルスPR8株 (A/PR/8/34 (H1N1))

<スケジュール>



<評価項目>

- ・一般状態スコア
- ・肺の肉眼的観察及びウイルス量測定
- ・体重

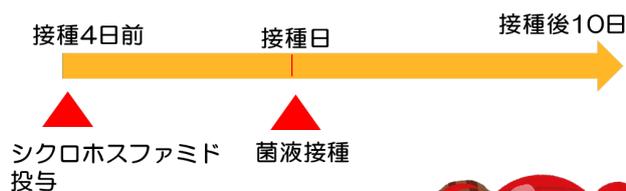


### ◆ MRSAを用いた全身感染試験

<使用菌株>

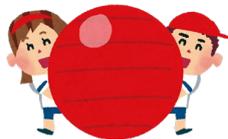
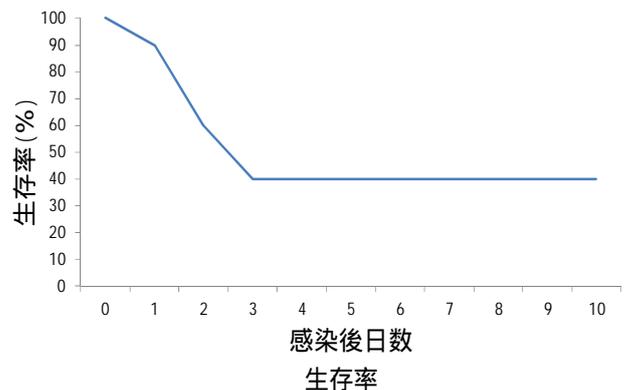
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)

<スケジュール>



<評価項目>

- ・生存率
- ・体重



### ◆ 皮膚感染試験

<使用菌株>

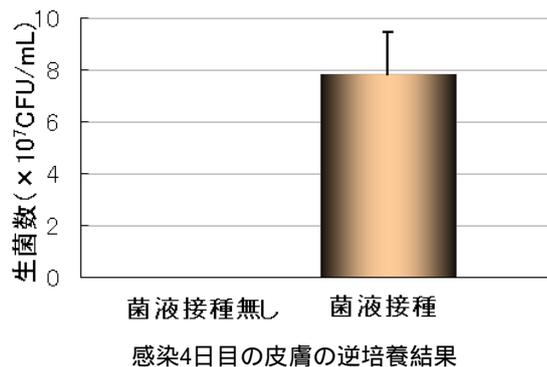
黄色ブドウ球菌

<スケジュール>



<評価項目>

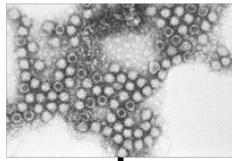
- ・皮膚炎スコア
- ・体重
- ・皮膚の生菌数



# Vitro 試験

## 【抗ウイルス試験】

病原体（ノロウイルス、カリシウイルスなど）



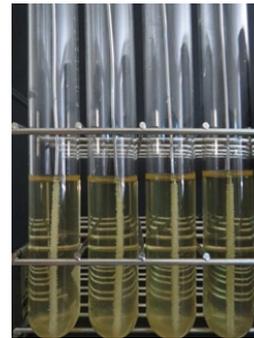
被験物質

### 検査項目

細胞の変性の有無から  
ウイルス感染価を算出  
(Spearman-Kärber法)

評価細胞に感染  
(2日間培養)

## 【人工プラーク付着性試験】



TSB溶液内にて菌培養

菌付着量は  
分光光度計にて測定

### <呼吸器感染>

病原体	動物種	評価項目
インフルエンザウイルス（気道感染）	マウス	一般状態、肺のウイルス量、NK活性、生存率
インフルエンザウイルス（空気感染）	マウス、モルモット	一般状態、肺のウイルス量

### <消化器感染>

病原体	動物種	評価項目
ロタウイルス	マウス（仔）	下痢症状、ウイルス量（糞便中）
Helicobacter pylori（ピロリ菌）	マウス	生菌数（胃内）
サルモネラ菌	マウス	生菌数（脾臓）
Clostridium difficile	ハムスター	生存率、病変度観察、下痢症状

### <皮膚感染>

病原体	動物種	評価項目
黄色ブドウ球菌	マウス	病変度観察、生菌数（皮膚）
ヘルペスウイルス	マウス	病変度観察
白癬菌	モルモット	病変度観察、生菌数（皮膚）

### <全身感染>

病原体	動物種	評価項目
MRSA	マウス	生存率、生菌数
カンジダ	マウス	生存率、生菌数
肺炎球菌	マウス	生存率、生菌数
耐性緑膿菌	マウス	生存率、生菌数

### < vitro >

- ・抗菌作用試験
- ・抗ウイルス試験
- ・抗生物質感受性試験
- ・人工プラーク付着性試験
- etc



### <病原体>

ウイルス	細菌	真菌
インフルエンザ ヘルペス ロタ ノロ ネコカリシ	黄色ブドウ球菌・MRSA 肺炎球菌 緑膿菌・耐性緑膿菌 サルモネラ菌 ミュータンス菌	カンジダ 白癬菌

